

Araldite® 2012

(アラルダイト®AW2104/ハードナーHW2934)

2液性エポキシ系速硬化接着剤

注意: アラルダイト®を安全に正しく使用するために、ご使用前に必ずこの取扱い説明書をよく読んで下さい。本製品の取扱い説明書は捨てないで保管して下さい。使用上ご不明な点についてはお問い合わせのうえご使用下さい。

特徴

- 常温急速硬化(20分で初期強度発現)
- せん断・剥離接着強度が高い
- 金属、セラミック、ゴム、硬質プラスチック等
種々の被着体に対する幅広い接着性

未硬化物の物性

	2012A (AW2104)	2012B (HW2934)
外観	こはく色	淡黄色
粘度 (mPas)	25,000-45,000	20,000-40,000
密度 (g/ml)	1.16-1.18	1.15-1.18

混合物物性

配合比	2012A / 2012B
重量比	100:100
容量比	100:100
混合物粘度 (mPa s)	約 25,000-35,000
混合物密度 (g/ml)	1.18
可使時間(25°C, 100g)	4 分
混合物の外観	淡黄色 (硬化温度等により赤みをおびる事がありますが異常ではありません。)



Araldite Structural Adhesives Technical Information

硬化条件(一定の接着強度に達する時間)

温度	10°C	15°C	23°C	40°C	60°C	100°C
> 1N/mm ²	35 分	20 分	20 分	5 分	2 分	<1 分
>10N/mm ²	2 時間	70 分	61 分	25 分	10 分	2 分

接着強度はシングルオーバーラップの引張せん断接着強度(接着面:12.5x25mm)
1N/mm²は取扱い可能強度

各温度における接着強度

硬化時間 23°Cx7日

接着強度(N/mm²)

-40°C	10
-20°C	10
0°C	10
20°C	16
40°C	19
60°C	7
80°C	4
100°C	3

各種の被着体に対する接着強度

硬化時間 40°Cx16時間
23°Cにて測定

各種金属に対する接着強度(N/mm²)

アルミニウム(L165)	18
鉄(37/11)	20
ステンレスV4A	28
銅	19
真ちゆう	21

Araldite Structural Adhesives Technical Information

環境暴露後の接着強度

アルミニウム試験片を使用
硬化時間 40°Cx16時間
初期強度 18N/mm²

暴露条件	30日後の接着強度 (N/mm ²)	60日後の接着強度 (N/mm ²)	90日後の接着強度 (N/mm ²)
耐湿40°C 95% RH	24	21	17
乾熱 70°C	35	33	35
水浸漬 23°C	19	7	2
水浸漬 60°C	12	12	11
水浸漬 90°C	-	-	6
潤滑油浸漬 23°C	-	-	17
パラフィン23°C	-	-	16
ガソリン23°C	-	-	17
酢酸エチル23°C	-	-	15
キシレン23°C	-	-	17
10%酢酸23°C	-	-	15

安全衛生

- 使用に際しては取扱い説明書と安全衛生データシートを読んでからご使用下さい。
- 樹脂や硬化剤が皮膚に触れたり、目に入ったり、蒸気を吸引することのないよう、保護具の着用や換気をおすすめします。
- 万一、皮膚に付着した場合は石鹼水でよく洗ってください。
- 目に入った場合は流水に充分浸した後、眼科医の診断を受けてください。
- 詳しくは、弊社説明書「エポキシ樹脂使用者の為の安全衛生」等を参照してください。

ここに記載された情報は、弊社が最善を尽くして得た知見に基づくものですが、弊社はその信頼性を必ずしも保証するものではなく、またその使用に基づく結果についても責任を追いかねます。弊社の製品を使用される際は実際の用途・用法に応じた条件下での安全性を確認の上、ご愛用下さいますようお願い申し上げます。